

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

CKM を選択した高齢腎不全患者の事例を振り返る
～腎代替療法専門指導士としての関わりの考察～

2. 研究責任者(当院)

所属：看護部 透析室

氏名：松信 和奈

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：なし

代表名：なし

3. 分担研究者

所属：看護部 透析室

氏名：石村和美

4. 研究対象者

90歳代 I氏 女性

5. 研究の必要性

近年、高齢化が進み、日本透析医学会の2021年度末の統計調査では、慢性透析患者で90歳以上の超高齢者は9,535人と報告されており、導入患者では女性の4.5%、男性の2.6%が超高齢者である。CKDが伸展し末期腎不全に至り、腎代替療法を選択するとなれば、その後の人生に大きな影響を及ぼす。特に超高齢者にとっては人生の最終段階で新たな課題に向き合うことになるが、今回、I氏の事例を通して本人の望む最期を迎えるにはどうすべきであったか、今後、意思決定支援における看護師の力を発揮するために、事例の振り返りが必要と考えた。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

研究等によって生ずる個人の影響は、本人死去により同意を得ることができないため、家族の同意が必要となる。残された家族の精神的負担となる可能性があり、今後の医学上の貢献について説明の上、事例振り返りとしての同意を得る。

医学上の貢献の予測としては、事例を振り返ることにより、今後も予測される高齢腎不全患者のRRT選択やCKM、透析終了に関わる場面で、共同意思決定（SDM）やアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の実践により患者自身が望む人生の最終段階を迎えることに繋がると考える。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151（代表）

担当者氏名：松信和奈

対応時間：8:30-17:00

※ご注意

対象者とは、個別に同意された方です。
お問合せは、同意された方と関係者のみで、その他の方へのご対応はできませんので、予めご了承ください。